



ちゃんと食べてますか？

住吉 秀公 議員

高齢者福祉



質問(議員) 健康から要介護に移行する中間段階をフレイルというが、その対策としての食育事業を始めてはどうか。
答弁(町長) 管理栄養士が「食と栄養について」の出前講座を実施するとともに、地域包括支援センターの訪問にも同行し、個別栄養指導も行う。

Q フレイル対策としての食育事業を
A 管理栄養士による講座と訪問指導を行う

Q 循環バスの抜本的見直しを
A 現在提案中の案で運行する

質問(議員) 「福祉バス」にしてはどうか。
答弁(町長) 対象を限定せず、現在提案中の案で運行する。

質問(議員) 海田中学校プール跡地に乗り継ぎ拠点を整備してはどうか。
答弁(町長) 考えていない。

小田 久美子 議員

骨髄バンク



質問(議員) 白血病や悪性リンパ腫、骨髄腫など血液のがんで、移植しか治療法がない方は、健康な造血幹細胞の提供者(ドナー)が初めて治療が成り立つ。骨髄バンクでは、ドナー登録者の確保が大きな課題である。これに加え、適合する患者があらわれた場合、ドナーは説明や健康診断など4、5日の入院が必要とな

Q ドナーの負担軽減対策は

A 助成制度を創設・活用する

り、休暇が取りづらいことや休業による収入減を理由に辞退する事例もある。
このような事例をなくし、移植率向上を図るため、県の骨髄ドナー助成制度をいつ頃創設・活用するか。
答弁(保健センター所長) 10月頃を目標に創設・活用する。

他の質問
●読書通帳は



登録できるのは18歳から54歳までです



行政の復旧範囲はどこまで？

下岡 憲国 議員

災害復旧工事



質問(議員) 県は、担当する護岸復旧工事において官民境界範囲を厳しく定め、民地部分の工事を放棄している。これでは民地の工事が取り残され、行政の言う原状回復にはならない。護岸上部の民地部分が壊れた原因は、下部の官地部分が壊れたからであり、下部が強固であれば上部民地も壊れることはなかった。この民地に砂防指定

Q 工事内容の調整の場などが必要では

A 必要に応じ対応していく

をかけて個人が工事する時は許可が必要と言いつつ、災害で壊れた時知らん顔はない。こうしたケースが相当数見込まれることから町は調整の場を設けるとともに救済制度を検討するべきだ。
答弁(町長) 必要に応じ町職員も協議に参加し、可能な調整を行っていく。救済については、現在の被災者支援制度を基に対応していく。

佐中 十九昭 議員

新庁舎予定地



質問(議員) 新庁舎予定地にヒ素が検出されているが、庁舎整備事業にどのような影響があるのか。
答弁(町長) 要因は、現在調査中である。影響については、今年度の工事発注はできないが、調査終了後、県と協議して進める。

Q 土壌汚染が建設にどう影響するか

A 調査結果が出てから説明する

質問(議員) 年金は減らされ、さらに議会が開かれる度に制度の改善・値上げの連続となっている。これを改善する姿勢がなければ、町政は良くならない。
答弁(町長) 子育て支援や介護支援など財政健全化に配慮しながら、現行制度の中で、住民福祉の向上に向けて実施する。

他の質問
●町民主権者と地方自治体の役割は



早期に土壌汚染対策し役場建設を